



アントレプレナーシップ教育研究センター  
Yamagata University Education and Research center for Entrepreneurship



山形県ソーシャルイノベーション創出モデル事業  
Yamagata yori-i project



YBC 山形放送

中高生向け

「やまがたイノベーションプログラム2024」

## 事前説明会資料

令和6年6月14日／オンライン開催

主催

Yamamagata yori-i project

- 公益財団法人やまがた産業支援機構
- 山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター
- 山形県

山形放送株式会社

後援

山形県教育委員会

特別協賛

株式会社山形銀行

# 1 なぜこのプログラムを実施するのか

---

山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター

センター長 教授 **小野寺 忠司**

# 1-1 事業の背景



物事を生み出す面白さ

+



自分のやりたいことの実現

## アントレプレナーシップ



- 地域の課題を自分ごととして捉え、解決できる能力を持つ人材を育てる
- 先んじて変革を起こせる人材を地元で生み出す

# 1-2 「やまがたイノベーションプログラム」とは

- 将来の経済の担い手である県内中高生を対象に、**アントレプレナーシップ**を通して**マインドセット** (精神)を醸成し、**スキルセット**(知識)を学ぶプログラムで、令和6年度で**6回目**の開催



自分がやりたいことや、自分が住む地域が抱えている課題をビジネスによって解決することを目指す



全国で活躍する起業家や経営者の的確な指導のもと、ビジネスプランを創り上げ、1泊2日の合宿を経て、さらに磨き上げて発表する



プログラムの参加を通して、物事をとことんやり抜く力、「やりたいこと」を論理的・実践的に組立てて発表する力を養い、探求学習の先のアントレプレナーシップを学ぶ

# 1-3 経験・実績豊富なメンター陣



チーフメンター  
**戸田 達昭**  
**TODA Tatsuaki**

山形大学客員教授  
シナプテック(株)代表取締役CEO  
ヴィジヨナリーパワー(株)代表取締役CEO

(株)アルステクネ・イノベーション代表取締役社長  
(有)ブリジット 代表取締役社長(一社)  
Mt.Fujiイノベーションエンジン 代表理事  
起業家、元中央教育審議会委員

メンター (8名)



**廣川 克也 HIROKAWA Katsuya**

山形大学 客員教授  
一般財団法人SFCフォーラム事務局長  
株式会社キングジム 取締役(社外)



**宗像 淳 MUNAKATA Jun**

山形大学 客員教授  
PierJ 株式会社 代表取締役  
元日本マイクロソフト株式会社 執行役員



**皆川 達哉 MINAKAWA Tatsuya**

山形大学 客員教授  
三井海洋開発株式会社 理事 CIO



**金田 一平 KANEDA Ippei**

山形大学 客員准教授  
インタラクティブ株式会社 取締役COO



**伊藤 大樹 ITO Taiki**

合同会社くらし 代表社員



**塩島 諒輔 SHIOZIMA Ryousuke**

株式会社スクーミー代表取締役CEO



**張 穎超 Ying Chao Zhang (ちょう えいちょう)**

山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター  
リエゾンアドバイザー  
レノボ・ジャパン合同会社勤務



**安 孫子 眞鈴 ABIKO Marin**

株式会社アルファテック 研究員  
インキュベーションポートやまがた株式会社、  
取締役兼CTO

# 1-4 運営体制

## 主催



山形県ソーシャルイノベーション創出モデル事業  
Yamagata yori-i project

公益財団法人 **やまがた産業支援機構**



山形大学  
Yamagata University

**アントレプレナーシップ教育研究センター**

Yamagata University Education and Research center for Entrepreneurship



**山形県**



**YBC 山形放送**

## 特別協賛

**株式会社山形銀行**

## 後援

**山形県教育委員会**

※ 大学、産業支援機関、放送局、県が連携し、参加者が持ち寄ったビジネスプランを、メンタリングを実施することによりブラッシュアップしたうえでコンテストを行う取り組みは先進的なもの。

## 2 参加に向けた留意点等

---

公益財団法人 やまがた産業支援機構

創業支援部 次長 舟越 博紀

## 2-1 各高校から寄せられた疑問点 ①

---

---

応募書類（ビジネスアイデア）は、どのくらいのレベルが求められるのか

- エントリーから最終発表までの期間で、メンターの指導によりブラッシュアップしていくため、自分の持つ課題が「こういうビジネスになるのでは？」という程度の記載で問題ありません。



# 参考 1) 昨年度のエントリー例①

～ニーズの明確化（自分事化）と市場規模の最大化～

	課題	解決の方向性	ビジネスアイデア
応募時	ウクライナ情勢緊迫化で、小麦の輸入額高騰  人口減少や食の欧米化で、米の消費量が減少	米の消費量を増やす	米粉を使用した「芋煮カレーパン」販売



	課題	解決の方向性	ビジネスアイデア
本選発表時	ウクライナ情勢緊迫化で、小麦の輸入額高騰  人口減少や食の欧米化で、米の消費量が減少  <b>夜の自宅学習の際、夜食を摂ると眠くなる</b>	米の消費量を増やす  <b>消化が緩やかで「眠くなりにくい」利点を活かす</b>  ノングルテン米粉使用製品に「スープ」はない	米粉を使用した <b>「米粉スープ（飲む米）」</b> 販売



## 参考2) 昨年度のエントリー例②

～地域全体で支え、儲ける仕組みを形成し、ブランド化～

	課題	解決の方向性	ビジネスアイデア
応募時	商店街のシャッター街化	ラーメン店開業人材の育成 ラーメン店経営立て直し	「ラーメン学校」開校



	課題	解決の方向性	ビジネスアイデア
本選発表時	商店街のシャッター街化 酒田ラーメンがブランド化されていない	ラーメン店開業人材の育成 ラーメン店経営立て直し 地元の小麦、煮干し、トビウオ等を使用し、地域全体でブランド形成 「学校」による上記素材の一括購入・供給により、地域内循環型経済を形成	「技」を伝授し、卒業後に「素材」を卸す 「ラーメン学校」開校

### 参考3) 昨年度のエントリー例③

～課題を捉え直し、新たな付加価値を形成～

	課題	解決の方向性	ビジネスアイデア
応募時	若者が楽しめる場所がなく流出していく一方で、高齢者はどんどん増える	若者も高齢者も楽しめる「場」の形成	若者も高齢者も楽しめる「古着屋」をオープン



	課題	解決の方向性	ビジネスアイデア
本選発表時	<p>若者が楽しめる場所がなく流出していく一方で、高齢者はどんどん増える</p> <p>あらゆる若者が集い、交流する「場」がない</p> <p>ないものを作るだけでは、「一過性」で終わる</p>	「古着屋」×「〇〇〇」の掛け合わせで、今までになかった「場」を形成	<p>「古着屋」×コスメ ×ネイル ×スイーツ ×制服 の</p> <p>「Our(若者たち)Place」をオープン</p>

## 2-2 各高校から寄せられた疑問点 ②

---

ビジネスプランシートはどのくらい書き込めば良いのか

- 「空欄を埋めること」を目指してください。

# 参考4) ビジネスプランシート (応募書類) と選考の仕方について



## ビジネスプランシート

<p><b>製品・課題・価値</b></p> <p>製品やサービスの内容を教えてください。</p>	<p><b>プロモーション</b></p> <p>どうやって顧客を獲得しますか (関係性の構築)。</p>	<p><b>顧客</b></p> <p>製品やサービスを使う人は誰ですか。</p>
<p>その製品やサービスはどのような課題を解決しますか。</p>	<p>どうやってずっと顧客になり続けてもらいますか (関係性の継続)。</p>	<p>製品やサービスの購入を決める人は誰ですか。</p>
<p>その製品やサービスはどのような価値を提供しますか。</p>	<p><b>チャンネル</b></p> <p>製品やサービスをどこにお客さんに売りますか。</p>	<p>製品やサービスの購入を決める人は誰ですか。</p>
<p>その製品やサービスをどのようにして実現させますか。(開発必要? 誰かと一緒にやる?)</p>	<p>製品やサービスをどこにお客さんに売りますか。</p>	<p>製品やサービスの購入を決める人は誰ですか。</p>
<p><b>費用</b></p> <p>大きな費用がかかりそうな項目を挙げてください (例: 人件費、研究開発費、原材料費、等)。</p>	<p><b>売上</b></p> <p>製品やサービスの金額はいくらですか。</p> <p>どのように売り上げますか (商品の販売と同時に一括で? 使用した分だけ? 時間単位で? 等)。</p>	

全項目が記入されている必要はありますが、各項目の「詳細さ」や「精緻さ」による選考は行いません。



このフレームは、アレックス・オスターワルダー教授 (スイスIMD経営大学院) が開発した「ビジネスモデルキャンパス」をベースに作成。

## 2-3 各高校から寄せられた疑問点 ③

### 一次審査の評価ポイントは

次の観点から一次審査を行う予定です。

- ① 「課題」と「解決方法」がしっかりつながっているか
- ② 将来、ビジネスとして成り立つ可能性があるか（プログラムでの「伸びしろ」があるか）
- ③ アイデアの「必要性」、「斬新さ」、「ユニークさ」 等

## 2-4 各高校から寄せられた疑問点 ④

### 学校の引率は必要か

- 傷害保険に加入予定であり、教師の引率は原則として不要です。
- 一方で、メンターの方々への質疑や、各学校間、大学、県との情報交換の場として活用された事例もありました。
- 9月28日のキックオフ、10月26日・27日の宿泊合宿及びビジネスプランコンテストは自由に見学いただけますので、ぜひ会場で生徒の活躍をご覧ください。

## 2-5 各高校から寄せられた疑問点 ⑤

---

---

「入賞特典」を具体的に教えて欲しい

- Yamagata yori-i project に参画するボードメンバー（企業・自治体）へ入賞したビジネスプランを紹介し、ビジネス化に向けた協力・助言を受けることができます。



## 2-6 各高校から寄せられた疑問点 ⑥

---

---

応募に向けてのサポートはあるか

- やまがた産業支援機構の創業支援担当者がサポートします。

## 参考5) イノベーションプログラムに関する相談について

### イノベーションプログラムの実施内容や、ビジネスプランシートの基本的な内容についてサポートいたします。

サポート期間 : 2024年6月17日(月)～7月26日(金) 17:00まで

問い合わせ先 : 公益財団法人やまがた産業支援機構 創業支援部 担当: 舟越  
Tel 023-647-0664

問い合わせ方法 : 下記アドレスに、問い合わせたい内容を送信してください。

**sogyo@ynet.or.jp**

【下記事項を記載のうえ、メールをお送りください】

件名 : 2024イノベーションプログラムについて (質問)

本文 : 学校名、学年、参加者氏名、お問合せ内容

(メール内容に不明な点があった際は、こちらから問い合わせいたします。)

※ ビジネスプランシートの記入例や、ビジネスアイデアに関する具体的なアドバイスについてはお答えできかねますので  
あらかじめご了承ください。

## 参考6) 令和5年度のメンタリング合宿・ビジネスコンテスト参加校

	学校名	チーム名	出席人数
1	山形東高校	チーム米っ粉	2
2		山形アーモンド革命	3
3		インバウンド	2
4	東海大山形高校	株式会社 IHTWFM	3
5	米沢興譲館高校	SEMET	2
6	米沢中央高校	KYN	3
7		山口グループ	3
8		Bloomy	2
9	九里学園高校	九里学園プログレスコース1年	3
10	長井工業高校	チーム源流	3
11	鶴岡工業高校	ユネスコ親衛隊	2
12	鶴岡南高校	鶴岡南化学ゼミ	3
13	酒田西高校	らあ men	3
14	新庄東高校	高齢者向け食堂	3
15		期限内 JK	3
16	東桜学館中学校	チーム CREATE DIVE	3